

守ってきたい わがまちの 景観と人々

第23回 (担当: 西原村)

「草原と観光の融合 西原村」

俵山のふもとにある「萌の里」は、地元特産品、新鮮野菜や田舎料理のレストランなど、南阿蘇の恵みが詰まった交流施設です。平成15年に俵山バイパス・俵山トンネルが開通したことにより、日頃から多くの観光客で賑わい、その景観から訪れる人に安らぎと癒しを与えています。

その「萌の里」の背景には、阿蘇カルデラの西側斜面に位置する広大な草原が維持されており、阿蘇の草原と観光地が融合した「景観整備」が図られています。

また、西原村では、毎年春に阿蘇全域において行われる炎の祭典「阿蘇の火まつり」の一環として、草原において「山の神まつり」が開催されています。

さらに、同時期に阿蘇地域一帯で行われる「野焼き」においても、俵山の山開きと兼ねて「夜の野焼き」を行っています。春の夜、幻想的な炎が音を立てながら山を包み込む姿は、毎年観光客やカメラマンを魅了しています。

ぜひ皆さんも一度足を運んで、

雄大な草原と観光施設の融合を、体感して楽しんでみられませんか。

世界遺産「ほれ話」

世界遺産1000件突破！

Vol.14

去る6月15日～25日、カタルのドーハで開催されていた「世界遺産委員会」において、群馬県の「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録されました。日本の遺産としては、文化遺産・自然遺産を含めて18件目の世界遺産となります。

また、今回の世界遺産委員会では、他にも様々な資産が登録されており、総数はついに計1,007件となりました。

ちなみに、ちょうど1,000件目の世界遺産はアフリカのボツワナにある「ボカバンゴ・デルタ」という自然遺産であり、これは自然美や生物多様性を持つ湿地帯が評価されたものです。

世界遺産委員会は毎年6月頃に開催されており、熊本県初の世界遺産登録を目指す「万田坑」と「三角西港」を含む「明治日本の産業革命遺産」は、来年ドイツのボンで開催される委員会において審議が行われる予定です。



俵山交流館「萌の里」と「俵山」



幻想的な炎に包まれた俵山

〈お問い合わせ〉

県企画振興部 文化・世界遺産推進室 TEL096(333)2153

県世界遺産登録推進ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/sekaiisan/>

若い方のお仕事探しをお手伝いします！

阿蘇地域振興局1階に「ジョブカフェ・阿蘇ブランチ」を開設しています。

就職に関するご相談など、お気軽にご利用ください。

【対象】 おおむね35歳未満の人または保護者

【相談時間】 午前10時～午後5時（土・日・祝日を除く）

【連絡先】 TEL: 0967(22)8178

携帯 TEL080(5282)9396

E-mail: aso-satellite-in@ezweb.ne.jp または jck.aso.satellite@gmail.com



南阿蘇

消費者
相談室から

Vol.19

【お問い合わせ】

南阿蘇消費者相談室

TEL (67) 2244

相談日 火曜・木曜日

午前10時～午後3時

皆さん、「無料」と言われると心が動きませんか？「無料で差し上げます」「お試し期間は無料です」「無料で教えます」など、ちなみに「無料」をうたい文句に顧客をつかむ商法があふれています。

今回は無料の着付け教室の相談です。手持ちの着物で着付けができるようになればと思って受講を決めた女性がいきました。受講内容に課外授業と名を付けた帯問屋と着物問屋を巡る工場見学が含まれていましたが、女性は、帯や着物を知るいい機会だと参加しました。

ところが、講師の先生や、販売員の方に、あの手この手で強引に勧められ、断りきれずに何十万の帯と着物を購入してしまいました。購入しないと、次回の教室で、講師の先生と顔を合わせにくくなりそうな気がしたと、言われていました。

これは生徒と先生の関係を悪用した心理作戦にも感じられます。着物は、着る人に合わせて作るのも、返品は、難しいことが多いです。帯についても、教室で練習に使用させて、返品を拒まれます。雰囲気にもまれて、買ってしまつたと後悔した時は、早めにご相談ください。早ければ、返品が可能な場合もあります。

くれぐれも「無料」の言葉には、ご用心ください。

■巡回相談日

12日 白水保健センター相談室

19日 長陽庁舎1階会議室

相談時間 午前10時30分～午後2時30分

専用電話 TEL (67) 2244